

前橋市 水道事業・下水道事業
令和元年度決算の概要

目 次

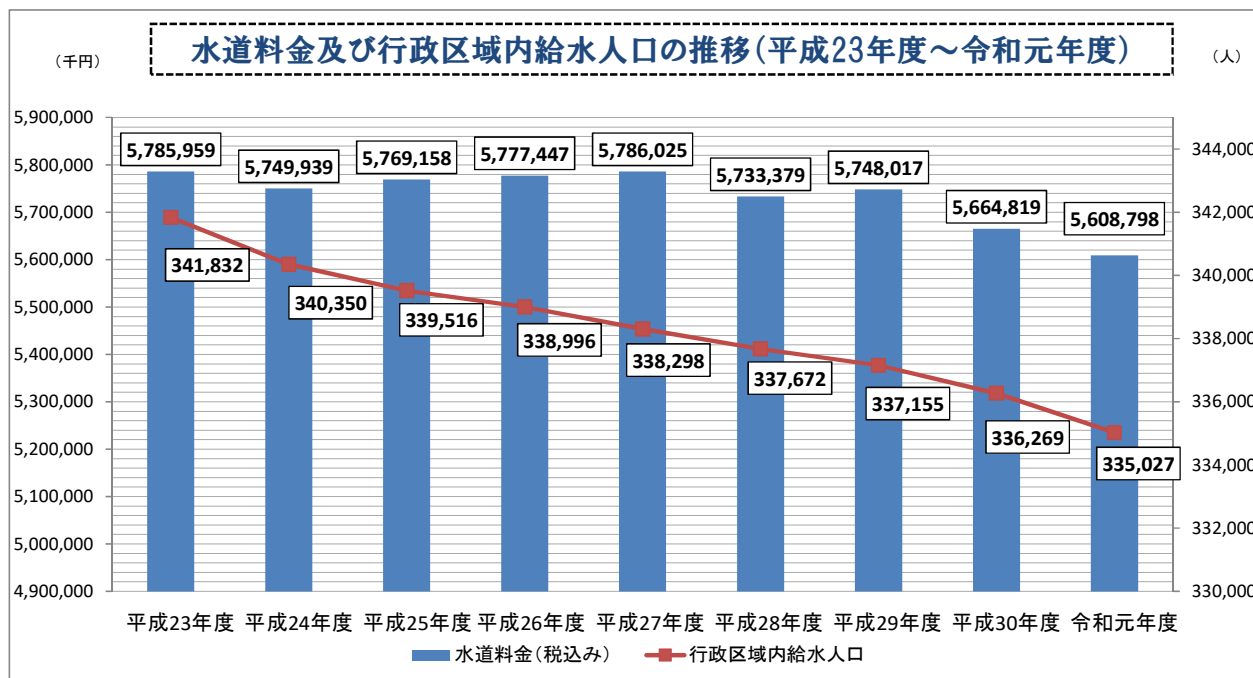
- ・水道料金、下水道使用料などの推移 …… 1
- ・水道事業の令和元年度決算の概要 …… 2～3
- ・下水道事業の令和元年度決算の概要 …… 4～5

水道料金、下水道使用料や人口などの推移

水道料金（56億 880万円）

水道事業収入の大半を占める水道料金については、前年度に比べ約5,600万円の減少となり、56億 880万円の収入となりました。

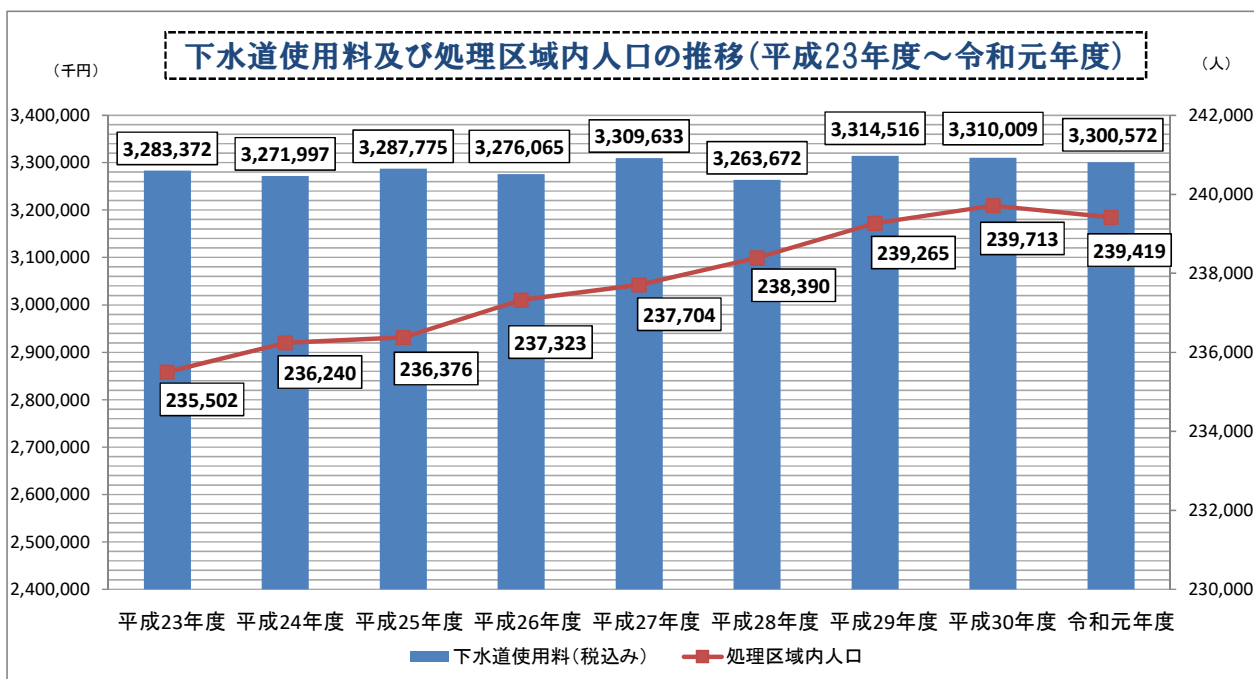
節水機器の普及や水需要の減少、配管や施設の老朽化対策工事などを勘案すると、令和4年度からの料金改定は避けられない状況です。



下水道使用料（33億 57万円）

下水道使用料については、前年度に比べ約940万円の減少となり、33億 57万円の収入となりました。

処理区域内人口は令和元年度に微減となり、水道使用量の減少等により下水道使用料も減少傾向が見込まれています。安定的な経営のためには、さらなる経費節減や計画的な更新に努めるほか、将来の下水道使用料の改定を視野に入れる必要があります。



水道事業会計の主な事業(令和元年度決算)

重要給水施設管路耐震化事業 (4,475万円)

地域防災計画等を参考に、災害時に特に重要と考えられる施設(災害拠点病院4箇所、災害対策本部など9箇所)を重要給水施設と位置づけ、災害時でも給水できるように供給ルートの耐震化を図ります。

令和元年度は、ヤマダグリーンドームへ続く管路の耐震化工事を行い、敷島浄水場からヤマダグリーンドームまでの管路の耐震化工事が完了しました。

【重要給水施設】①群馬県庁②前橋市役所③消防局中央消防署④水道局⑤大胡支所⑥宮城支所⑦粕川支所⑧富士見支所⑨ヤマダグリーンドーム前橋⑩前橋赤十字病院⑪群馬大学病院⑫済生会病院⑬群馬中央病院

県央水道受水費 (18億8,961万円)

配水の割合	自己水(地下水)	43.6%(前年度は43.9%)		
	県央水(表流水)	56.4%(" 56.1%)	県央第一水道	39.9%(単価: 50円/m ³ (税抜))
			県央第二水道	16.5%(単価:102円/m ³ (税抜))

敷島浄水場配水塔築造工事 (R元,2の2か年工事 契約額9億9,000万円)

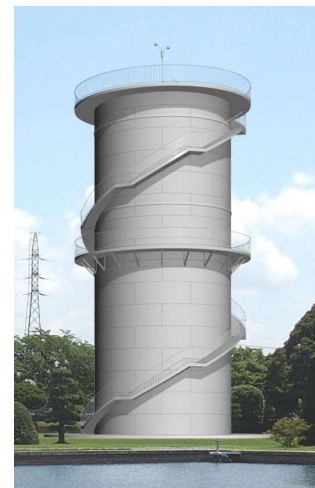
平成27年度から敷島浄水場基本設計業務に着手し、敷島浄水場全体の更新について検討を進めました。新配水塔は平成29・30年度の2か年で詳細設計を実施し、令和元・2年度で建設予定です。また、配水塔以外の場内施設について更新の必要があるため、令和元・2年度で詳細設計を行っています。

今後は、施設更新工事と並行し、現在の水道タンクの保存のあり方などについても検討を進める予定です。



左) 昭和4年から稼働している水道タンク

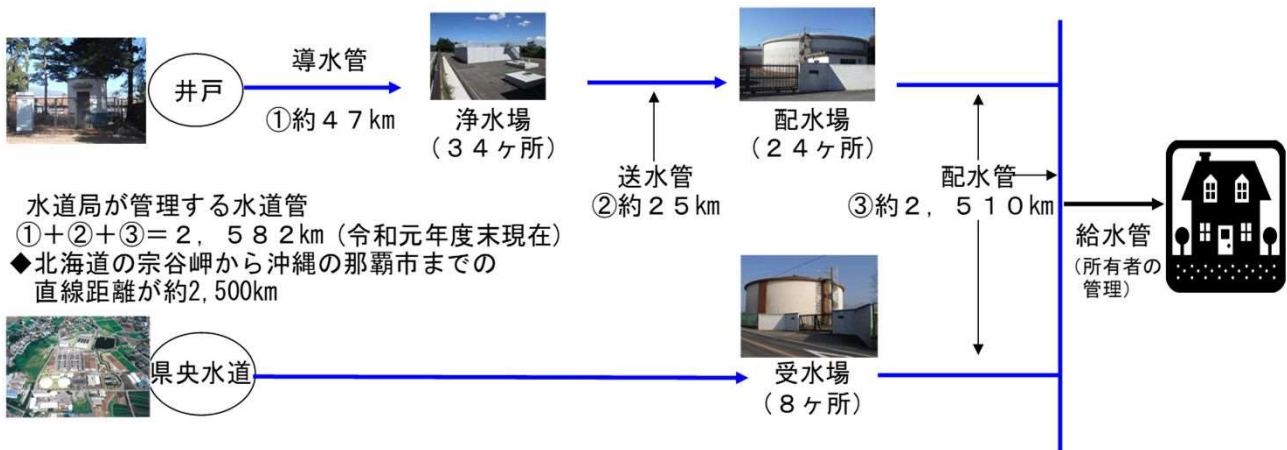
右) 新水道タンク(イメージ図)
機能美を重視したデザイン



配水管等改良事業 (8億5,732万円)

浄水場施設等改良工事 (4億452万円)

老朽配水管の布設替工事、都市計画事業や下水道事業など他の事業に関連した配水管の布設替工事、市民の方々からの要望による配水管の新設や水圧増強工事などを実施しました。また、各浄水場の計装設備改修工事などをはじめとした浄水場施設等改良工事を実施しました。



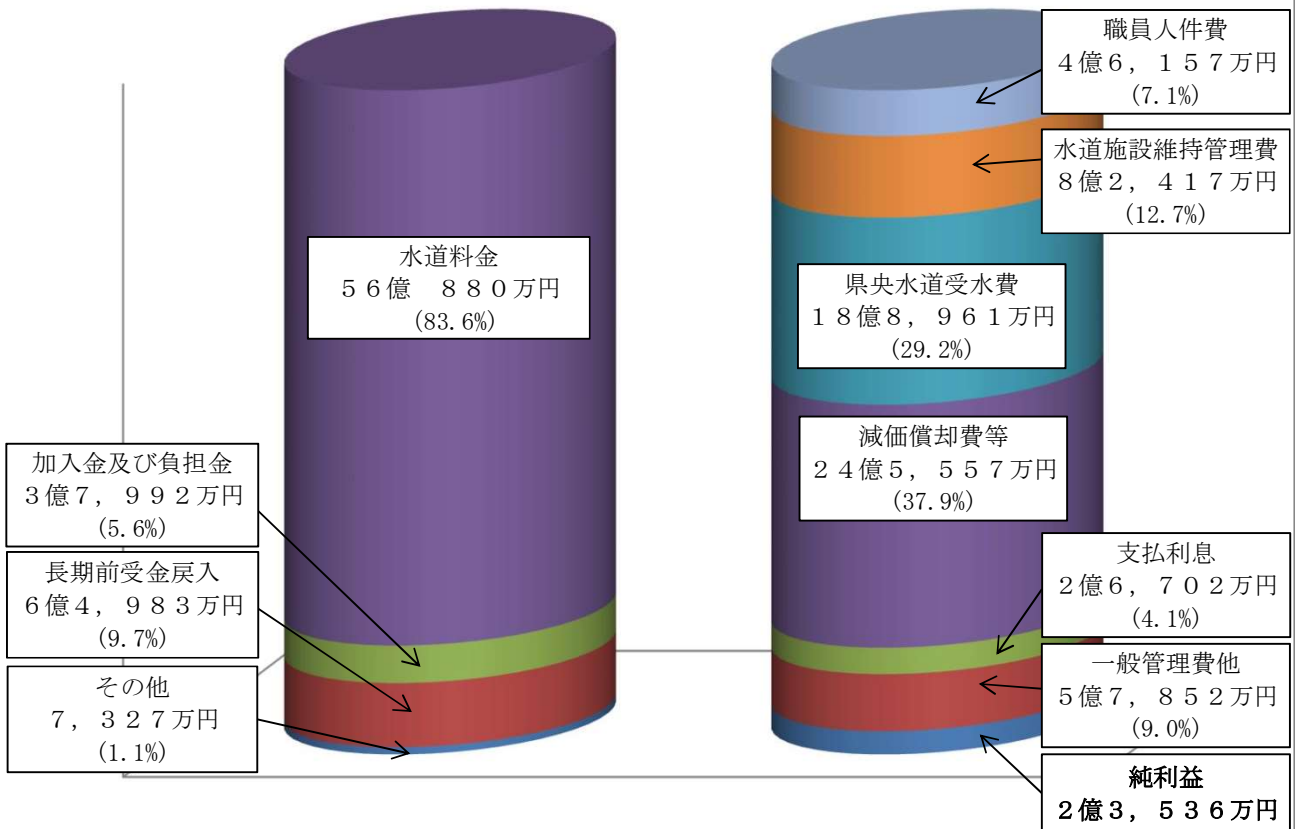
令和元年度 水道事業会計決算の概要

税込み

【収益的収支】・経常的な収支の状況

収入合計 67億1,182万円

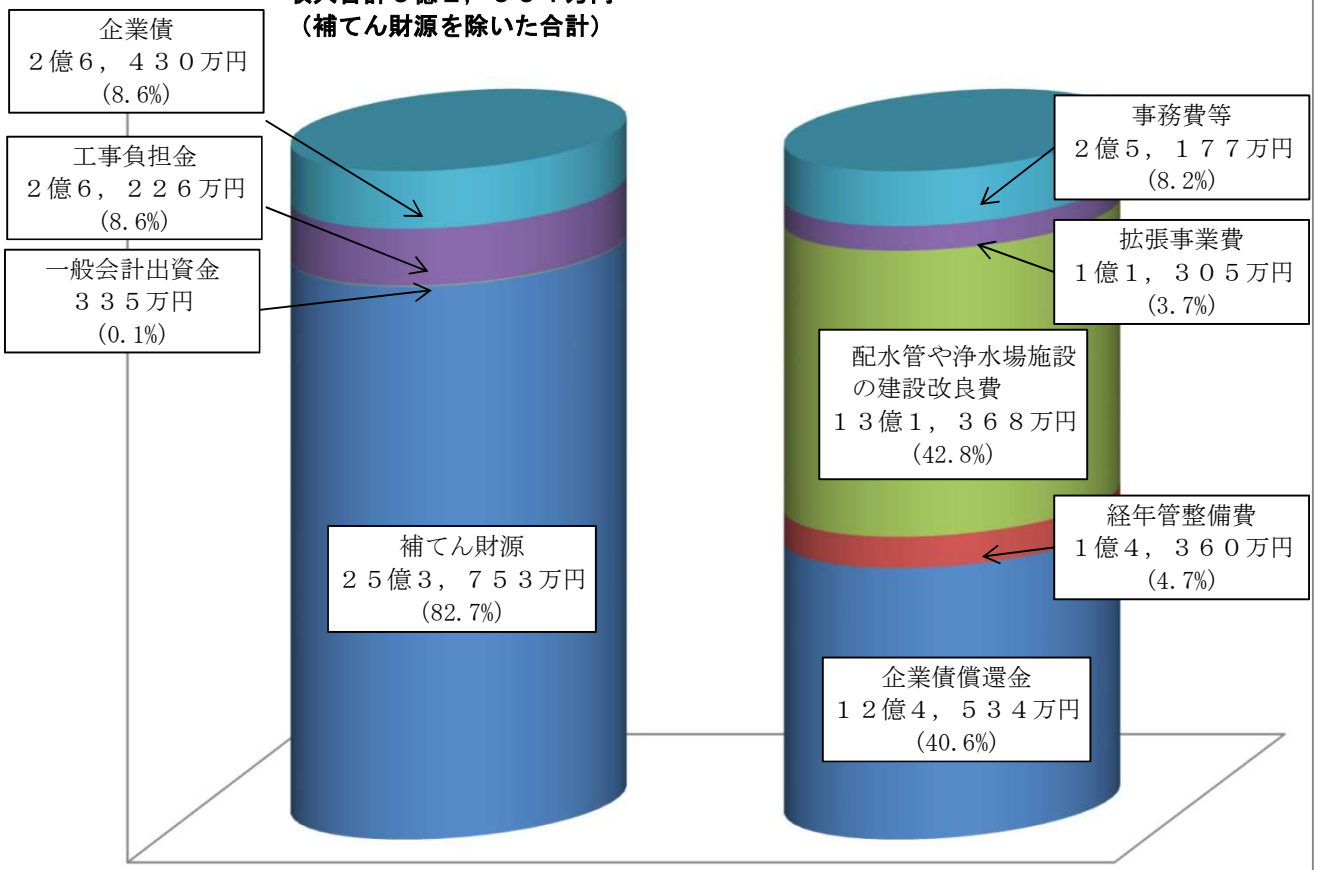
支出合計 64億7,646万円



【資本的収支】・投資的な収支の状況

収入合計 5億2,991万円
(補てん財源を除いた合計)

支出合計 30億6,744万円



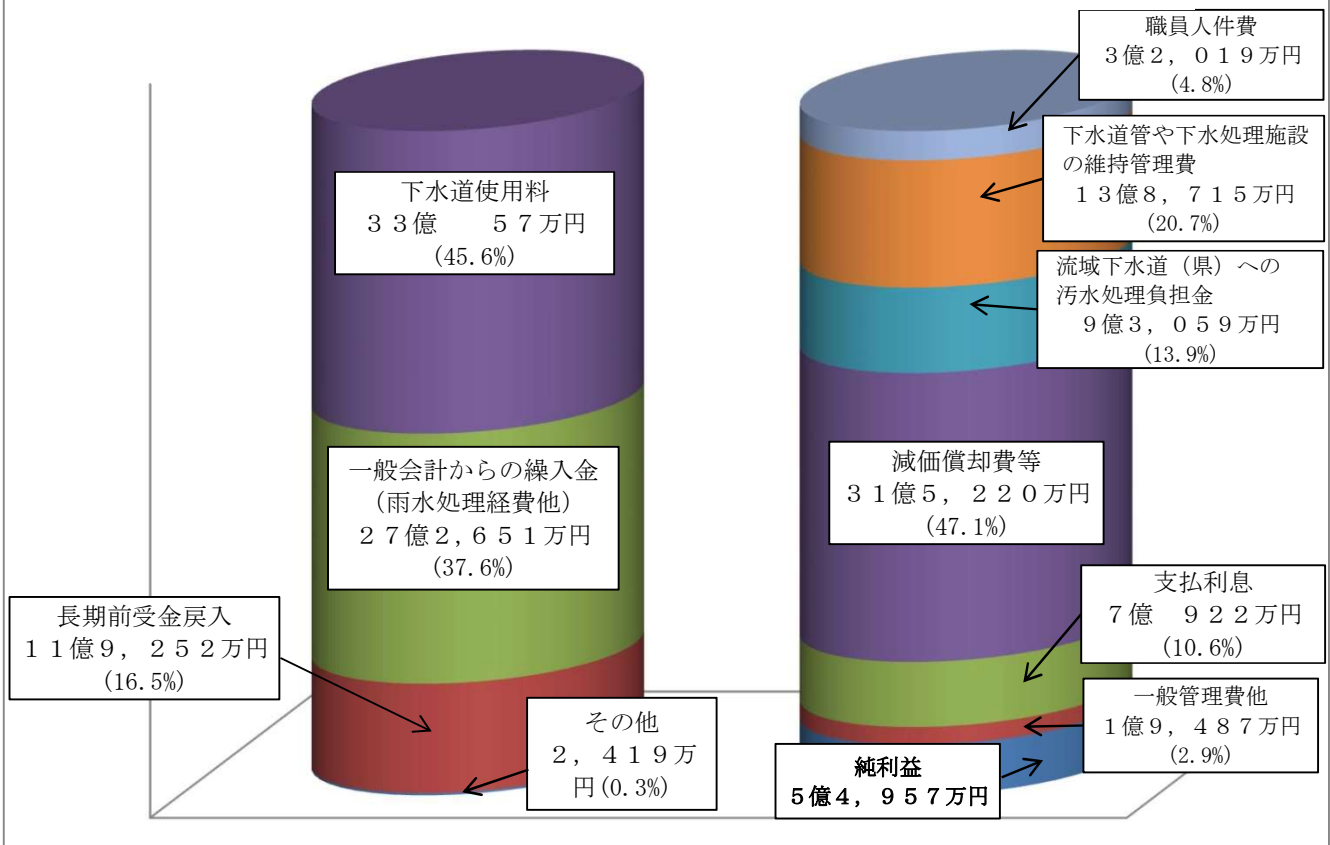
令和元年度 下水道事業会計決算の概要

税込み

【収益的収支】・経常的な収支の状況

収入合計 72億4,379万円

支出合計 66億9,422万円



【資本的収支】・投資的な収支の状況

収入合計 31億6,597万円
(補てん財源を除いた合計)

支出合計 58億3,200万円

